

第5節 海と陸との連続性・護岸

現在の三番瀬は、海と陸との変化に富む自然なつながりが護岸によって断ち切られています。また、直立護岸の一部には、鋼矢板の腐食、老朽化、高さの低下が認められます。

このことから、海と陸との自然な連続性を徐々に取り戻し、人々と三番瀬とのふれあいを確保してゆくことが重要です。また、安全性が保たれていない護岸については、必要な安全性を早急に確保することが必要です。

そのため、安全性が保たれていない護岸については、安全かつ生態系に配慮した護岸改修を早期に進めるとともに、護岸の海側及び陸側における自然再生への取組の検討、親水スポット等の整備により海と陸との連続性の回復を目指します。



(浦安市入船)



(浦安市日の出)



(市川市塩浜2丁目)



(市川市塩浜3丁目)



(市川市塩浜1丁目)



(市川漁港)



(ふなばし三番瀬海浜公園前)



(船橋市潮見町)